

掛川市自然環境調査

活動場所

- ・位置……………市内全域
- ・フィールドタイプ……川・森・田んぼ・草地・沿岸部
- ・面積……………約265km²

活動の目的

市内の自然環境の現状と変化を把握し、今後の保全策の資料とともに、多くの市民に身近な自然に親しみを持っていただき保護保全活動が推進されることを目的に実施しています。(平成12年～実施)

活動の内容

専門家による調査に加え、延べ1万人以上の小学生や市民がボランティア調査に参加し、毎年度魚類、ツバメ、昆虫、両生類、タンポポなど身近な生き物を調査し、5年間で一巡させ、経年の変化を調査してきました。

希少種や多様性のある自然環境区域が把握でき、官民の開発行為における適切な行政指導に繋がるなど、市内における保護・保全活動の基礎となっています。

(自然環境調査結果に基づいた活動)

- ・平成18年に「掛川市自然環境の保全に関する条例」の制定。
- ・「指定希少野生動植物種」15種の指定、
- ・「指定希少動植物保護地区協定」を2地区で締結。
- ・平成25年のFAOによる世界農業遺産「静岡の茶草場農法」に認定。

等

今後の展望

現状の調査だけでなく調査結果に基づく自然保護や保全、再生活動まで幅広く、市民に自然を親しんでもらう機会とすることや市民にとどまらず市外の方へも掛川市の自然環境についての情報を発信していきます。

一言コメント

掛川市の自然は、大きく見ると人とつながりをもった自然である里地里山が多い日本では“どこにでもある”自然です。

しかしその“どこにでもある”自然を調査することで、希少動植物を確認できたり、調査を継続することで見えてくることもあります。

今後も継続的に調査を実施し、自然環境の保護・保全を推進していきます。



希少種写真（カケガワフキバッタ）



調査風景（市民ボランティア）



茶草場風景

実施体制

構成員：掛川市役所環境政策課
(調査協力：掛川市内小学校、市民ボランティア)

事務局：掛川市役所環境経済部環境政策課

連絡先：〒436-8650 静岡県掛川市長谷1-1-1
TEL 0537-21-1218